



梅雨明け直後はハダニ類・シンクイムシ類等の最重防除期です。
今回の薬剤散布は、梅雨明け直後にハダニ類等の密度を下げることを目的です。ハダニ類の被害が目立つ場合は、薬剤散布を予定より早める等の対策を講じてください。併せて、薬剤の効果を高めるため、散布前に徒長枝切り等を行い、園全体に薬液が到達するようにしてください。

◆ **西洋梨の定期防除**（収穫前や収穫中の作物への飛散に十分注意してください。）

🌸 7 月中下旬の薬剤散布（前回より 15～20 日後）

散布時期	7 月 20 日～30 日 *注意事項①参照	◆ 散布日：7 月 日
散布薬剤	水 1 0 0 0 当り 展着剤 1 0 mℓ キノンドーフロアブル 1 0 0 mℓ （3 日前、9 回） *注意事項②、③参照 ダニサラバフロアブル 1 0 0 mℓ （前日、2 回） 🔴 オリオン水和剤 4 0 1 0 0 g （3 日前、2 回） *注意事項④参照	◆ 散布量： リットル
対象病虫害	輪紋病、ハダニ類、シンクイムシ類、ハマキムシ類、カイガラムシ類	
散布量	10 アール当り：600 ㍓以上	
注意事項	① ハダニ類等の発生が目立つ場合は、上記散布時期より前倒して実施する。 ② キノンドーフロアブルに代えてオキシラン水和剤 500 倍（3 日前、9 回）でも良い。<u>有機銅成分を含む薬剤（オキシラン水和剤やキノンドーフロアブル等）の使用回数は合計で 9 回以内であるので注意すること。</u> ③ キノンドーフロアブルを使用する際は、容器の口を下に向けて横に回しながら上下に振り、容器内でよく溶かしてから SS 等のタンクへ投入すること。 ④ オリオン水和剤 40 は劇物登録薬剤です。購入の際は印鑑をお持ちください。 ⑤ 葉やけ防止のため、高温時の散布はしない。また、降雨が心配される場合は散布を見合わせる。また、葉やけの起きやすい条件は、①薬剤散布直後の雨、②急激な高温、乾燥とその後の多雨等です。 ⑥ 薬液が樹の隅々まで到達するように、散布量は多めに設定する。また、過繁茂状態の場合は、薬剤散布前に徒長枝処理を行う。	

（参考）8 月中旬の 薬剤散布予定：8／10～20 頃（前回より 20 日後）

🌸 ナシ類の 7 月下旬の重点管理作業

- ① 西洋梨の腐らん病対策
- 梅雨期間に感染が広がっています。早めの抑制処理の実施をしてください。
 - 見つけしだい削り取り処理や切除し、傷口にトップジンMペーストを塗布する。
- ② 主枝・側枝誘引（次年度対策）
- 次年度の花芽着生促進と側枝を太らせないために積極的に実施する。主枝候補を誘引する場合は、南水・オーロラ等は 45 度、ラ・フランスは 30 度を目安に誘引する。
- ③ 土壌水分管理（5 日以上降雨がない場合はかん水の実施を！）
- 極端な土壌乾燥は果実肥大に大きく影響します。盛夏期は定期的にかん水を実施する。
 - 土壌乾燥防止のため、樹冠下に敷きワラやマルチ等を早めに実施する。
- ④ 雑草管理
- バスタ液剤 200 倍を使用する。（水 100ℓ に対し、バスタ液剤 500mℓ ）

和梨の定期散布は裏面をご覧ください。

◆ **和梨の定期防除**（収穫前や収穫中の作物への飛散に十分注意してください。）

● ハダニ類・シンクイムシ類等の被害が見られる場合は、前回からの散布間隔を 10～12 日程度に短縮して実施してください。

【有袋】 7 月中下旬の薬剤散布（前回より 15 日後）

散布時期	7 月 20 日～25 日			◆ 散布日：7 月 日
散布薬剤	水	1 0 0 リットル		◆ 散布量： リットル
	展着剤	2 0 ml		
	ダニサラバフロアブル	1 0 0 ml	（前日、2 回）	* 注意事項参照②、③
	キノドーフロアブル	1 0 0 ml	（3 日前、9 回）	
	劇ダズバン DF	3 3 g	（21 日前、3 回）	* 注意事項参照④
対象病害虫	黒斑病、輪紋病 ハダニ類、シンクイムシ類、ハマキムシ類、クワコナカイガラムシ			
散 布 量	10 アール当たり：450 リットル 以上 * 注意事項④参照			
注意事項	① 殺ダニ剤の効果を上げるため、今回の薬剤散布の 3～4 日前に下草除草を実施する。 ② 通常展着剤に代えて、機能性展着剤ササラの 2,000 倍を使用すると薬液の広がりがよくなり、散布後の乾きも早くなる効果がある。 ③ ハダニ類成虫の発生が目立つ場合は、ダニサラバフロアブルに代えて、即効性の高いスターマイトフロアブル 2000 倍（前日、1 回）を使用する。 ④ ダズバン DF は劇物登録薬剤です、購入の際は印鑑をお持ちください。 ⑤ 薬液が樹の隅々まで到達するように、散布量は多めに設定する。また、過繁茂状態の場合は、薬剤散布前に徒長枝処理を行う。			

（参考）有袋 8 月上旬の 薬剤散布予定：8／5～10 頃（前回より 15 日後）

【無袋】 7 月中下旬の薬剤散布（前回より 15 日後）

散布時期	7 月 20 日～25 日			◆ 散布日：7 月 日
散布薬剤	水	1 0 0 リットル		◆ 散布量： リットル
	展着剤	2 0 ml		
	ダニサラバフロアブル	1 0 0 ml	（前日、2 回）	* 注意事項②、③参照
	劇ダズバン DF	3 3 g	（21 日前、3 回）	* 注意事項④参照
	ロブドー水和剤	1 2 5 g	（14 日前、5 回）	* 注意事項⑤参照
対象病害虫	黒斑病 シンクイムシ類、ハマキムシ類、クワコナカイガラムシ、ハダニ類			
散 布 量	10 アール当たり：450 リットル 以上			
注意事項	① 殺ダニ剤の効果を上げるため、今回の薬剤散布の 3～4 日前に下草除草を実施する。 ② 通常展着剤に代えて、機能性展着剤ササラの 2,000 倍を使用すると薬液の広がりがよくなり、散布後の乾きも早くなる効果がある。 ③ ハダニ類成虫の発生が目立つ場合は、ダニサラバフロアブルに代えて、即効性の高いスターマイトフロアブル 2000 倍（前日、1 回）を使用する。 ④ ダズバン DF は劇物登録薬剤です。購入の際は印鑑をお持ちください。 ⑤ ロブドー水和剤に代えて、キノドーフロアブル 1000 倍（3 日前、9 回）でもよい。 ⑥ 薬液が樹の隅々まで到達するように、散布量は多めに設定する。また、過繁茂状態の場合は、薬剤散布前に徒長枝処理を行う。			

（参考）無袋 8 月上旬の 薬剤散布予定：8／5～10 頃（前回より 15 日後）